

製品名: HMG-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12100**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	about 30kDa

抗原情報

遺伝子名	HMGB1
別名	HMGB1; HMG1; High mobility group protein B1; High mobility group protein 1; HMG-1
遺伝子 ID	3146.0
SwissProt ID	P09429
免疫原	ヒト HMG-1 の N 末端領域から得られた合成ペプチド。

背景

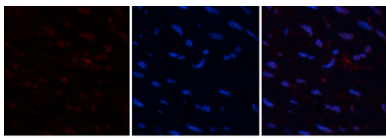
この遺伝子は、高移動度グループ (HMG) ボックススーパーファミリーに属するタンパク質をコードします。コードされている非ヒストン型の核 DNA 結合タンパク質は転写を制御し、DNA の組織化に関与します。このタンパク質は、炎症、細胞分化、腫瘍細胞の

遊走など、いくつかの細胞プロセスにおいて役割を果たします。この遺伝子には複数の擬遺伝子が同定されています。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2015年9月]機能: 一本鎖 DNA に優先的に結合し、二本鎖 DNA をほどく。類似性: HMG B ファミリーに属する。類似性: 2つの HMG ボックス DNA 結合ドメインを含む。

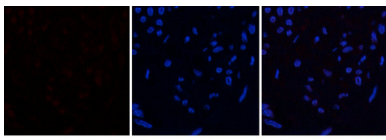
研究分野

塩基除去修復

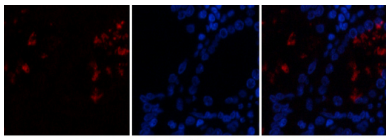
画像データ



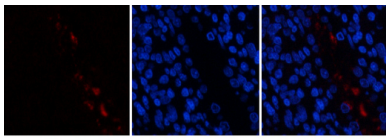
ヒト子宮組織の免疫蛍光染色。1, HMG-1 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



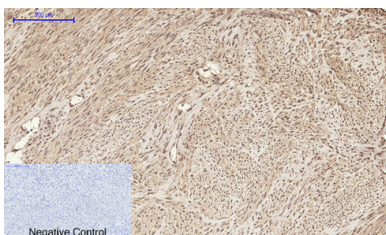
ヒト子宮組織の免疫蛍光染色。1, HMG-1 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



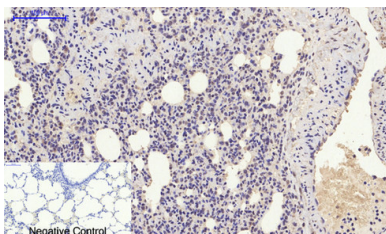
ヒト胃組織の免疫蛍光染色。1, HMG-1 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



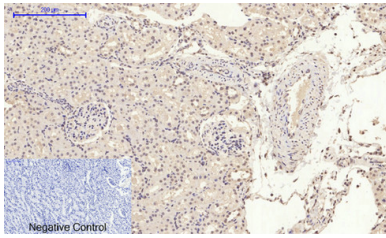
ヒト胃組織の免疫蛍光染色。1, HMG-1 ポリクローナル抗体 (赤) を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2, Cy3 標識二次抗体を 1:300 に希釈 (室温、50 分)。3, 図 B: DAPI (青) 10 分。図 A: ターゲット。図 B: DAPI。図 C: A+B の合成。



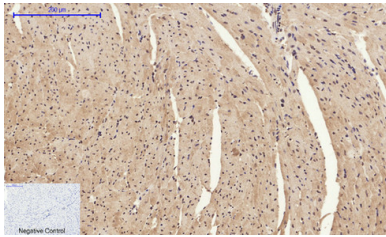
パラフィン包埋ヒト子宮組織の免疫組織化学染色。1. HMG-1 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



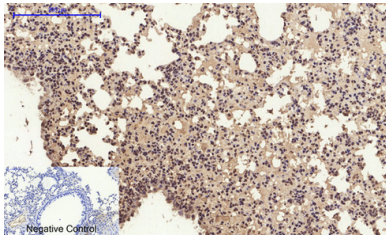
パラフィン包埋ラット肺組織の免疫組織化学染色。1. HMG-1 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋ラット腎臓組織の免疫組織化学染色。1. HMG-1 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋マウス心臓組織の免疫組織化学染色。1. HMG-1 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。



パラフィン包埋マウス肺組織の免疫組織化学染色。1. HMG-1 ポリクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2. クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を用いて抗体賦活化 (>98°C、20 分) を行った。3. 二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30 分)。ネガティブコントロールとして二次抗体のみを用いた。